

皆さまのお力に支えられ「目で聴くテレビ」放送 25年

公的施設・団体に「アイ・ドラゴン4」を

「目で聴くテレビ」はNHKの災害放送に手話を付けて配信するだけでなく、全国の聴覚障害者情報提供施設から情報を収集し、安否情報などを番組の中でお知らせしています。

番組アーカイブでは様々な防災・減災に関する番組を24時間いつでも見ることができます。

「アイ・ドラゴン4」設置の取り組み

- 和歌山県 「きのくにの手」に続いて「和歌の手」にも設置
- 愛知県 長久手市の「福祉の家」に設置
- 大分県 NPO 法人自立支援センターおおいたより、大分県聴覚障害者センターに寄贈

※ご当地の施設や団体に「アイ・ドラゴン4」はありますか？ ぜひ、見直してください。

「アイ・ドラゴン4」&「目で聴くテレビ」 現地説明会と公演

■和歌山県「和響青学習会」

(3月5日 和歌山ビッグ愛にて)

「アイ・ドラゴン4」の機能説明や、重田千輝キャスターが自身の生い立ち、「目で聴くテレビ」番組制作にける思いや目標などをお話しました。「目で聴くテレビ」が障害者差別をなくし言語としての手話の理解や普及に努めていることに、青年部の皆さんと同じ目標を持つ仲間として共感いただき、たくさんのご意見をいただきました。

「アイ・ドラゴン4」で見る「目で聴くテレビ」の魅力は？

- ・各地の情提の番組が見られるのが良い。いろいろな情報を得ることができる。
- ・和歌山の番組も見られるのは嬉しい。やはり地元が一番。
- ・過去の青研を見ることができる。参加したことがない人も様子を知ることができる。
- ・国際手話に興味があるので、国際手話の番組は興味深く見ている。

「アイ・ドラゴン4」を普及するためには？

- ・ろう学校にも置いてほしい。ICTを使った教育が主流になってきているので機材を整備する際にドラゴンも置いてもらうように働きかけたい。
- ・目で聴くテレビの番組をいくつかHPやインスタグラムに載せる。全部見せるのではなく、いいところで切って「続きはアイ・ドラゴンで」とする。

■奈良県

「第36回奈良県みみの日記念のつどい」

(3月6日 奈良県社福祉総合センターにて)

人気番組「手話くらべ」の重田千輝と村上信次、2人のキャスターが番組を飛び出し奈良県へ。「卒業式」「奈良県」という2つのテーマをくらべました。「卒業式」は、卒業式の最中に涙を流す様子や、学校を出るときに後輩に第二ボタンをせがまれるシーンなどを、村上流と重田流で表現しました。「奈良県」は「近鉄奈良駅」「五重塔」「奈良公園」「東大寺」「大仏」の5つの名所を写真で見せ、こちらも村上流と重田流で表現しました。いずれも大好評で大盛り上がりでした。「手話くらべとても良かった！」「また見たい！」というお声をたくさんいただきました。



第36回奈良県みみの日記念のつどいの様子
(提供:(一社)奈良県聴覚障害者協会)

「アイ・ドラゴン4」は日常生活用具です。障害者手帳をお持ちの方は、等級に関係なくどなたでも役所で申請することができます。お住まいの地域の協会にご相談ください。

「アイ・ドラゴン4」は
アンテナ不要!!
テレビに簡単接続!!
24時間いつでも
「目で聴くテレビ」を見られる!!

「アイ・ドラゴン4」
説明ムービー

